

# はばたき はばたきタイム

第1回目の「はばたきタイム」は、NPO法人はばたき理事長の広瀬浩様をお招きして、お話を伺いました。



はばたきは、本校東門を出てすぐの左側のところにあります。ここは、障がいのある人が、働いて作業訓練をしているところです。障がいのある人というのは、足が悪かったり、目が悪かったり、耳が悪かったりする人のことです。どんな仕事をしているかという、ドアノブの組み立てや部品の袋詰め、段ボールの周りのテープはり、線香の箱詰めなどを行っています。また、パソコンの入力の仕事もしています。このような作業訓練をして、一般の会社に就職しようと一生懸命練習をしているところが、はばたきです。今、はばたきには、20才から70才までの障害のある人20名が、作業訓練をしています。また、職員が10名働いています。

また、はばたきのすぐ横に「おおぞら」というカフェがあります。ここでも、障がいのある人が働いています。ここで働く人は、目に見える障がいではなく、うつ病や統合失調症など心に障がいをもっている人たちです。この人たちは、みんな基本的に優しい人たちです。神経が細やかで、悩みすぎて、考えすぎて病気になってしまったのです。このカフェでは、職員が料理を作っていますが、地元の民生委員・児童委員のみなさんも、お手伝いしてくれています。また、この「おおぞら」で、去年の7月に、夏祭りをやりました。ボランティアの人が流しそうめんを用意してくれたり、焼きそばを作ってくれたりしました。また、毎月第3土曜日にはイベントをやっています。今月は、和菓子を作ってお茶をたてる催しをやりました。その他、科学の勉強や防災の話などいろいろなイベントを毎月行っていますので、機会があったら来てみてください。

最後に、「1人1秒のプレゼント」というお話をします。これは、障がいのある人をたくさん雇っている社長さんが書いた本の中にあった実話です。東京のある小学校のお話です。この中の38人いるクラスに、足の不自由な男の子がいました。この学校の運動会で、クラス全員のリレーをやることになりました。クラスの友達が「あの子がいるから、うちのクラスは1等賞にはなれないよね。」と言っているのを聞いた男の子は、担任の先生に「みんなの足を引っ張るから、リレーに出ない。」と願い出ました。担任の先生が、クラスでそれを伝えると、1人の男の子が、「みんなで今日から練習して、1人1秒速くならうよ。」とみんなに呼びかけたのです。そこで、みんなで毎日毎日一生懸命練習したところ、なんと優勝しました。1人1秒、クラス全員で38秒タイムを縮めたのです。これが、友達の力ですよね。みなさんも、障がいがあってもなくても、クラスみんなで力を合わせて、仲良く楽しく生活してくれるとうれしいです。

広瀬様は、写真のスライドも御用意くださり、全校生に分かりやすくお話をしてくださいました。子どもたちは、「はばたき」や、障がいのある方について理解を深めることができたようです。その日の帰りから、「はばたき」の皆さんに、子どもたちの方から挨拶をするようになったそうです。

子どもたちの感想は、裏面に載せてありますので、御覧ください。

次回はばたきタイム  
7月5日(水) 1:15~  
講師：学校評議員  
永岡 康夫様  
体育館東入口からお入りください。  
スリッパを御持参下さい。

保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

担当：大森

氏名 ( ) 児童名 ( 年 組 )

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思いますので、御了承ください。